

明治大学 阿久悠記念館

2013年2月14日
明治大学

〒101-8301 東京都千代田区神田駿河台1-1 明治大学アカデミーコモン地階
電話:03-3296-4329(明治大学総務課大学史資料センター)
10:00~17:00 入場料 無料

日本を代表する作詞家・作家阿久悠は、だれもが知る多数の歌謡曲の作詞を手がけました。
その数は5,000曲以上におよびます。

都はるみの『北の宿から』、沢田研二の『勝手にしやがれ』、ピンク・レディーの『UFO』などの大ヒット曲をはじめ、
アニメソングやCM曲まで幅広いジャンルでヒット曲を数々世に送り出してきました。
日本レコード大賞受賞は史上最多の5回、
シングルレコードの売り上げは6,800万枚を越え、史上1位です。

その活躍は作詞のみにとどまらず、直木賞候補となった『瀬戸内少年野球団』をはじめとする
小説作品や、アフォリズム(警句)の手法を駆使したエッセイ、詩歌を多数発表し、作家として多大な業績を残しました。

2010年、ご遺族から、自筆原稿をはじめとする阿久関係資料およそ1万点が寄贈されたことを受け、
同氏の業績をたたえるとともに、その遺産を次世代に継承していくために阿久悠記念館をオープンさせることとなりました。

阿久悠
(1937~2007年)

作家。1937年(昭和12年)兵庫県生まれ。

1959年、明治大学文学部卒業。広告代理店を経て、
1966年からフリーとなり本格的な文筆活動を開始する。

『北の宿から』『UFO』など、演歌から歌謡曲、アニメ
番組のテーマソングまで5,000曲以上に及ぶ作品を
幅広く手がけ、日本を代表する作詞家として活躍した。

小説『瀬戸内少年野球団』は映画化され、作家として
もその才能を発揮。

日本レコード大賞を数々受賞し、1997年には作詞活動
30年の功績が称えられて第45回菊池寛賞を受賞。

1998年、明治大学特別功労賞、1999年、紫綬褒章、
2007年、旭日小綬章などを受賞している。

